

中学地理プリント（過去問類似）

九州地方

名前

得点

/8

問1 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

1. 熊本県 2. 鹿児島県 3. 長崎県 4. 宮崎県

問2 福岡県の工業は、1970年から2020年にかけてその構造が大きく変化しました。1970年時点では製造品出荷額において鉄鋼が大きな割合を占めていましたが、2020年には自動車などの生産を中心とする工業分野が県内最大の割合を占めるようになっています。この、近年福岡県で成長が著しい工業分野の名称を次の中から選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

1. 輸送用機械 2. 食料品 3. 化学工業 4. せんい工業

問3 鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため
2. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
3. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
4. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保する必要があるため

問4 日本の諸地域に見られる伝統的な住居の工夫について述べた次の文のうち、南西諸島の特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 屋根の傾斜を急にし、厚い茅（かや）で葺くことで、雪が滑り落ちやすくしている。
2. 住居の北側や西側に「防風林（屋敷林）」を植えることで、冬の厳しい寒風を防いでいる。
3. 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。
4. 地面から床を高くした高床式の構造にすることで、地面からの湿気を通さないようにしている。

問5 九州地方の農業と人口に関する統計において、人口密度が1024.1人/km²と1000人を超えて非常に高い県と、豚の産出額が723億円に達し畜産業が盛んな県の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県
2. 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：大分県
3. 人口密度の高い県：熊本県、豚の産出額が多い県：鹿児島県
4. 人口密度の高い県：沖縄県、豚の産出額が多い県：熊本県

問6 日本の4つの道県の農業統計において、農業産出額が約4,800億円と全国上位でありながら、米の産出額が占める割合がわずか4.3%にとどまる県があります。この県における農業の特徴として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。
2. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な稲作が行われており、農業産出額の半分以上を米が占めている。
3. 気候が温暖な平野部で、冬の暖かさを利用して野菜を通常の時期より早く栽培する促成栽培が盛んに行われている。
4. 都市近郊の立地を活かして、収穫から消費地までの輸送時間を短縮できるコマツナやホウレンソウなどの近郊農業が中心となっている。

問7 九州地方の南側から東側の沿岸部に沿って北東方向へと流れる強い海流について、この海流は低緯度から北上する「暖流」としての性質を持ち、別名「日本海流」とも呼ばれます。この海流の名称として正しいものを選びなさい。（2023年 岡山公立入試 類似）

1. 黒潮 2. 親潮 3. 対馬海流 4. リマン海流

問8 宮崎県では、沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響を受けた温暖な気候を利用して、ピーマンなどの野菜栽培が盛んに行われています。このような農業の形態として最も適切な名称はどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 園芸農業 2. 近郊農業 3. 酪農 4. 稲作

答え合わせ・解説

問1	答え 1 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問2	答え 1 輸送用機械	福岡県では、かつて官営八幡製鉄所を中心とした鉄鋼業が盛んでしたが、近年は北九州市や宮若市、苅田町などで自動車産業の集積が進みました。その結果、製造品出荷額に占める輸送用機械の割合が大幅に増加し、県の主要な工業分野となっています。
問3	答え 1 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問4	答え 3 敷地の周囲を石垣で囲い、屋根には赤瓦を用いてその隙間を漆喰で固めている。	南西諸島の伝統的な民家は、サンゴ礁を利用した石垣で囲まれていることが多く、これは台風などの強風から家を守る役割を果たしています。また、屋根には風に強いとされる赤瓦が使われ、さらに瓦が吹き飛ばされないよう漆喰で継ぎ目を固めているのが外観上の大きな特徴です。急勾配の屋根は白川郷などの合掌造り、防風林は関東平野や平居などで見られる工夫です。
問5	答え 1 人口密度の高い県：福岡県、豚の産出額が多い県：鹿児島県	福岡県は九州地方の政治・経済・文化の中心地であり、人口が約510万人に達し、人口密度も1000人/km ² を超える都市化が進んだ県です。一方で、鹿児島県はシラス台地が広がる土地条件を活かして豚や肉用牛などの畜産業が非常に盛んであり、豚の産出額は全国でも有数の規模を誇ります。
問6	答え 1 シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。	農業産出額が高く、かつ米の割合が極端に低いというデータは鹿児島県の特徴を示しています。鹿児島県は、稲作に適さないシラス台地の特性を克服するため、畑作や畜産に力を入れてきました。その結果、サツマイモや茶の生産量、さらには黒豚や肉用牛といった畜産部門で全国屈指の産出額を記録しています。なお、大規模な稲作は主に北海道や新潟県、促成栽培は高知県や宮崎県、近郊農業は千葉県や埼玉県などの特徴です。
問7	答え 1 黒潮	低緯度の暖かい海域から日本列島の太平洋側に沿って北上する暖流は、黒潮と呼ばれます。その色は深く澄んだ青色をしているため、黒っぽく見えることからこの名がつけました。一方、親潮やリマン海流は北から流れてくる寒流であり、対馬海流は九州の西側を通過して日本海側へと流れる暖流です。
問8	答え 1 園芸農業	宮崎県は太平洋を流れる暖流である黒潮の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候条件を活かし、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜を栽培する園芸農業が発達しました。特に、他の地域よりも出荷時期を早めて高値で販売する「促成栽培」が、平野部を中心に広く行われています。